

名前：

点数： /14点

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く — 手順は基礎編と同じ。素材の密度だけが上がる。

この一枚の技 「たしかにA。しかしB。」を**一つの答案の中に両方とも組み込む**。譲歩Aを落とすと、筆者の公平さ（Aを認めた上でのB）が答案から消え、大きく減点される。No.030の技の最終形。

たしかに、効率を高めることは重要である。限られた時間で多くのことを成し遂げる工夫は、私たちの生活を豊かにしてきた。しかし、効率という物差しは、目的がすでに決まっているときにしか意味を持たない。何を指すべきかを考える時間は、一見むだに見えて、効率よりも先に来るべき営みである。むだを削る前に、私たちはまず、何のための速さなのかを問わなければならない。

問1 効率についての筆者の考えを、効率の意義を認めている部分に触れながら、100字以内で説明せよ。 14点／目標15分

設計のヒント：部品：①譲歩（生活を豊かにしてきた）②限界（目的が決まっているときのみ有効）③結論（目的自体を先に問う）。①を一文目に置くと組みやすい。

問1 模範解答（95字前後）

効率は、限られた時間で多くを成し遂げ生活を豊かにしてきた点で重要だが、目的が決まっているときにしか意味を持たないため、むだを削る前に、何のための速さなのかという目的自体をまず問うべきだ、という考え。

要素	採点基準	配点
譲歩	効率の意義（多くを成し遂げ生活を豊かにする）を認めている	3点
限界	目的が決まっているときにしか意味を持たない	4点
結論	目的（何のための速さか）を先に問うべきだ	5点
形	譲歩→限界→結論の順で一文の論理が通る	2点

添削ワンポイント（よくある失点）

「効率ばかり求めるのはよくない、という考え。」——限界と結論を一般語でまとめ、譲歩を落とした答案は3～5点止まり。譲歩・限界・結論の三部品に①②③と番号をふってから書き始めること。字数が余るのは、ほぼ譲歩の欠落が原因。

自分の答案が何点が知りたい方は、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。要素ごとに採点し、失点の原因を手順のことで診断してお返しします。（無料相談：nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定）